

一、愛宕公園の草集め(年三回)とゴミ集め作業。

二、プランター花植え(20鉢)(ベコニアとマリーゴールド)

三、愛宕公園のグラウンドの草取り(年2回)

が中心でしたが部会の皆さんのご協力により無事終える事が出来ました。

その中でなかなか出来なかったのがゴミ問題です。

特にゴミ分別です。

一昨年から部会の中で検討会を実施して参りましたが、なかなか解決策が見当りませんでした。

そこで花北地区市政懇談会において、市の環境課長より良きアドバイスを頂こうと思いい質問しましたが、これといった解決策が聞けませんでした。

やはり地区民お一人一人のモラル、意識、やる気と行動しかなと思います。

仏教の教えでは、自分のやったことが、

「悪いことも、良いことも、かならず自分にもどつてくるんだよなあ!!」とあります。

今後、各地区皆様方のご協力を頂きながら、きれいで明るい町づくりを努めて参りたいと思います。

ありがとうございます。

地区の名勝・史跡

### 浅沢地区の氏神様

浅沢地区 葛谷 隆志

浅沢地区に鎮座する鳥海神社は、元旦からにぎわいました。

三年前から始めた餅撒き、お菓子撒き、玉コンニャク及びみかんの配布等の行事が浸透し約80人の親子が午前零時から集まりだし新年の祈願が続きました。

午前零時半、小学生以下の児童を対象にした菓子の入った福袋の撒き始めです。40人前後の子供たちがうれしそうに大声で撒き手の総代に大アピールで袋を求めます。直接キャッチする者、落ちた袋を取り合うもの楽しそうな姿に見守る親達。数分の出来事に息を切らしての奮闘が終了しました。

餅撒きです。大人と子供が入り乱れての空中戦の賑わいが最高潮になり、取り損ねた小さい子に手渡しする総代は、ほほえましく見えます。餅の数は、昨年の倍にしましたがあつという間に終了しました。

福袋と餅をたくさん拾った桜台小学校3年生の鎌田結風ちゃんは、「お姉ちゃんと二人でたくさん拾ったヨ楽しかった。きつといい年になるわ」と大はしゃぎでした。

餅撒きの大吉である景品(純米吟醸の七福神)一升)は、なん

と小学生が射止めました。お父さんへのお年玉にするとのことです。

鳥海神社は、浅沢と本館の土地を守護し、豊作を祈願することを目的に祀られた神であると伝え聞いています。神の名は、豊受姫大神といひます。調べますと神名の「ウケ」は、食物のことで、食物・穀物を司る女神とのこと。名高い神様がこんな近くに鎮座しているのです。

鳥海神社は、古くは四日町や旧川原町(現在の四日町三丁目)の氏子の皆さんによつて山形の鳥海神社より分神勧請し建立されたものです。

その後、時代の変遷より、神社の守護地内は、市の住宅環境整備事業により整備され今では、630世帯を超す住宅街となり、今も増加中です。当海神社は、夏は、地区のラジオ体操の場所とし祭りには、子供達の奉納相撲の場として親しまれています。

皆さん、私たちが住んでいる地域を守っている氏神様は、豊受姫大神であります。神のご加護のもと健康で楽しい居住地になつてもらいたいものです。

### 地区「だより

#### 交通安全について

愛宕町 佐藤 拓美

昨今、あおり運転による交通事故や逮捕者等の続出がマスコミで報道され、愕然とさせられます。運転免許取得の際の自動車学校でも、その後の免許更新講習でも安全運転義務の履行については心あるドライバーなら肝に銘じているはずであります。それが何故か、あおり運転など危険行為をするドライバーがいること自体、残念でなりません。



花巻神社前交差点